

京都大学人文科学研究所国際研究ミーティング実施報告書

1. 国際研究ミーティングの名称

「仏教文化の東漸とシルクロード」

2. 主宰責任者氏名

YI, Lidu (フロリダ国際大学准教授、人文科学研究所招へい研究員・客員准教授)

3. 開催日時等およびプログラム(講演者名または報告者名を明記してください)

①日時: 2022年6月21日 14:00~17:00

場所: 京都大学人文科学研究所分館 考古・芸術共同研究室
(対面開催とZoom会議を併用したハイブリッド形式)

演題: “Image-making and Function of the Religious Space in Yungang:
On the Sūtra of the Divine Spells of Great Auspiciousness”
(雲岡石窟圖像與空間利用の新思考—從《大吉義神咒經》談起)

報告者: YI, Lidu (フロリダ国際大学准教授)

コメンテーター: 佐藤 智水 (龍谷大学客員教授)

②日時: 2022年7月5日 14:00~17:00

場所: 京都大学人文科学研究所分館 考古・芸術共同研究室
(対面開催とZoom会議を併用したハイブリッド形式)

演題: 「對山東青齊地區窟龕造像及題記的再思考」

報告者: YI, Lidu (フロリダ国際大学准教授)

コメンテーター: 佐藤 智水 (龍谷大学客員教授)

③日時: 2022年7月19日 14:00~17:00

場所: 京都大学人文科学研究所分館 考古・芸術共同研究室
(対面開催とZoom会議を併用したハイブリッド形式)

演題: “Seeing Buddhas in the Afterlife: A Case Study of the Xing Hejiang Tomb”
(對平城墓葬中佛教題材的新認識—以刑合姜墓壁畫為例)

報告者: YI, Lidu (フロリダ国際大学准教授)

コメンテーター: 佐藤 智水 (龍谷大学客員教授)

4. 概要(400字程度)

この国際研究ミーティングは、共同研究「北朝石窟寺院の研究」の一環として開催したもので、全3回の講座からなる。主として中国北朝(5~6世紀)の仏教に関係する石窟・造像・墓葬などを対象とし、それらの新たな解釈を試みた。第1回のミーティングでは、5世紀後半に北魏の曇曜が漢訳した初期の密教経典『大吉義神咒經』に着目し、その成立過程と内容を検証した上で、経典と雲岡石窟の造像や空間利用との関係について議論をおこなった。第2回のミーティングでは、山東省の青州・齊州地区(泰山の北方から東方にかけての地域)に分布する北朝の石窟・磨崖造像を対象とし、その発展変化の過程を整理するとともに、他地域との交流関係について議論をおこなった。さらに、第3回のミーティングでは、2015年に山西省大同で発見された北魏皇興三年(469)刑合姜墓の壁画に着目し、そこに反映された仏教的要素について議論を深めた。これらはいずれも中国北朝の仏教研究に新たな視点をもたらすものであり、今後さらなる研究の深化と発展が期待される。

5. 参加者(別紙「参加状況」も記載してください。)

①学外

YI, Lidu(フロリダ国際大学)、佐藤智水(龍谷大学)、大西磨希子(佛教大学)、田林啓(白鶴美術館)、石松日奈子(東京国立博物館)、濱田瑞美(横浜美術大学)、篠原典生(中央大学)、北村一仁(河南農業大学)、常鈺熙(北京大学)

学内

檜山智美(白眉センター)、富岡采花(文学研究科)、大谷弦(文学研究科)

所内

岡村秀典、稲本泰生、安岡孝一、エリカ・フォルテ、倉本尚徳、向井佑介、高志緑、易丹韻

②学外

YI, Lidu(フロリダ国際大学)、佐藤智水(龍谷大学)、大西磨希子(佛教大学)、田林啓(白鶴美術館)、石松日奈子(東京国立博物館)、濱田瑞美(横浜美術大学)、篠原典生(中央大学)、北村一仁(河南農業大学)

学内

檜山智美(白眉センター)、富岡采花(文学研究科)、大谷弦(文学研究科)

所内

岡村秀典、稲本泰生、安岡孝一、エリカ・フォルテ、倉本尚徳、向井佑介、高志緑、易丹韻

③学外

YI, Lidu(フロリダ国際大学)、佐藤智水(龍谷大学)、大西磨希子(佛教大学)、篠原典生(中央大学)、石松日奈子(東京国立博物館)、濱田瑞美(横浜美術大学)、北村一仁(河南農業大学)

学内

檜山智美(白眉センター)

所内

岡村秀典、稲本泰生、安岡孝一、エリカ・フォルテ、倉本尚徳、向井佑介、高志緑、易丹韻

6. 助成金の使途等

コメンテーターへの旅費・謝金 18,860 円×3回=56,580 円

7. その他(成果や今後の展開等、自由に記載してください)

参加状況

区分	機関数	参加人数					延べ人数				
		総計	海外研究者	40歳未満	35歳以下	大学院生	総計	海外研究者	40歳未満	35歳以下	大学院生
人文研所属 (内女性)	1	8 (3)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	24 (9)	6 (6)	4 (4)	4 (4)	2 (2)
学内(法人内) 人文研を除く (内女性)	2	3 (2)	()	3 (2)	2 (1)	2 (1)	5 (4)	()	5 (4)	2 (1)	2 (1)
国立大学 (内女性)		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
公立大学 (内女性)		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
私立大学 (内女性)	4	4 (2)	()	()	()	()	12 (6)	()	()	()	()
大学共同利用機関法人 (内女性)		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
独立行政法人等公的研究機関 (内女性)	1	1 (1)	()	()	()	()	3 (3)	()	()	()	()
民間機関 (内女性)		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
外国機関 (内女性)	3	3 (2)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	7 (4)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
その他 (内女性)		()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
学外 計											
計	11	19 (10)	4 (4)	6 (5)	5 (4)	4 (3)	51 (26)	10 (10)	10 (9)	7 (6)	5 (4)
【その他の参加状況】											

※本務所属が海外の研究機関である研究者

※()内には、女性数を記載

※受入機関、受入人数、延べ人数を区分に応じて記入してください。

※外国人、若手研究者(40歳未満)、若手研究者(35歳以下)、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対しての内数を記入してください。

※受入人数、延べ人数については上段に総数を下段に()で女性の内数を記入してください。

※「学内」の所属機関数は「学部数」等を記入してください。

※【その他の参加状況】には「その他」区分に計上した、具体的な所属等を記載

※受入人数及び延べ人数の算出方法は、以下の例に基づき算出してください

国際研究ミーティングに参加者2人が3回参加した:受入人数2人、延べ人数6人